詰め替えインク取扱説明書

INK-C350・351シリーズ共通

必ず本取扱説明書を読んで、正しく作業を行ってください。

eco・INK

対応インクタンク

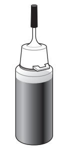
キヤノン　BCI-350PGBK　351BK　351C　351M　351Y　351GY
BCI-350XLPGBK　351XLBK　351XLC　351XLM　351XLY　351XLGY
※BCI-355XXLPGBKには対応していません。

対応プリンタ

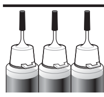
PIXUS　MG6330 / MG5430 / MX923 / iP7230
※上記は、対象カートリッジに対応する全てのプリンタです。各インクの対応プリンタはパッケージをご覧ください。

セット内容（数量はパッケージをご覧ください）

①インクボトル

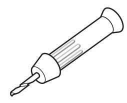


インク面の高さについて



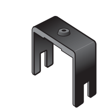
ボトルのインク液面の高さに差がある場合があります。これはボトルの内容積の差によるもので、インクの量はパッケージに表示してある容量が充填されています。

②ドリル

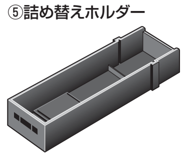


③注入口プラグ

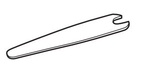
④ドリルガイド



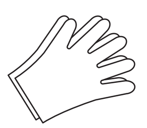
⑤詰め替えホルダー



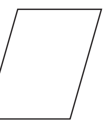
⑥プラグリムーバー



⑦手袋



⑧取扱説明書



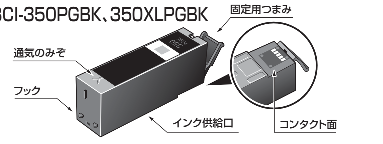
⚠重要 ※インクカートリッジの種類によって詰め替え方法が異なります。通常カートリッジと大容量(XL)タイプはカートリッジ内の構造が違いますので、お使いのカートリッジを確認してから作業を行ってください。

【BCI-350PGBK、BCI-351シリーズ】　①⑦⑧を使用してください。②～⑥は使用しません。詰め替え方法は手順Aを参照してください。

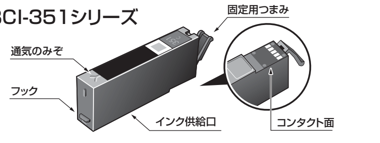
【BCI-350XLPGBK、BCI-351XLシリーズ】　①～⑧を全て使用します。詰め替え方法は手順Bを参照してください。

各部の名称

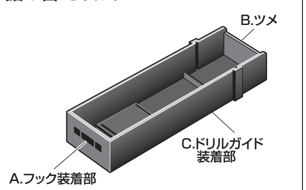
●BCI-350PGBK、350XLPGBK



●BCI-351シリーズ



詰め替えホルダー



ホルダーは詰め替え作業とインクタンクの一時的な保管用として使えます。
保管については「ホルダーを保管用として使う方法とお願い」を参照してください。

インク成分

・ブラック（顔料）…【蒸留水】50～60%・【グリコール】20～30%・【その他顔料】10～30%
・ブラック…【蒸留水】70～80%・【グリコール・イソプロピルアルコールなど】1～10%・【染料】1～15%
・シアン…【蒸留水】70～80%・【グリコール・イソプロピルアルコールなど】1～10%・【染料】1～15%
・マゼンタ…【蒸留水】60～70%・【グリコール・イソプロピルアルコールなど】1～15%・【染料】15～25%
・イエロー…【蒸留水】70～80%・【グリコール・イソプロピルアルコールなど】1～10%・【染料】1～15%
・グレー…【蒸留水】70～80%・【グリコール・イソプロピルアルコールなど】1～10%・【染料】1～10%

○注意事項

●詰め替えをする前に、必ず取扱説明書を読んで正しく作業を行ってください。不完全な詰め替えや説明内容と違った使い方をすると、インク漏れとなりプリンタに損傷を与える場合があります。
●他社製詰め替えインクと混合・併用、再生・互換品のインクタンクに詰め替えて使用すると、印字不良やインクタンク不具合となる恐れがあり、これらの原因でトラブルとなった場合はユーザーサポート及びいかなる責任も負いません。
●BCI-350PGBK、BCI-351シリーズのICチップ付きインクタンクは、インクを詰め替えてもチップエラーなどが発生した場合は使用ができなくなります。詰め替えたこととインクタンクのICチップエラーは関連がありませんので、製品補償などの責はご容赦ください。

○使用上の注意と保管について

●本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐには消えません。ご使用に際しては、不用意にインクボトルを強く握ったり、逆さまに持ったりしないようにしてください。インクが噴き出したり、こぼれ落ちたりします。
●子供の手の届く所に置かないでください。
●飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合は、医者の診断を受けてください。
●目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。
●インクは開封後1年以内にご使用ください。
●詰め替えした後の残ったインクは、ゴムキャップをしっかりして、直射日光や高温多湿の場所を避け、涼しい所で保管してください。インクの漏れを防ぐためにインクボトルは立てて保管してください。

○製品について

●本製品のインクは弊社製インクを使用しており、純正インクの印刷色合いとは差異が生じる場合があります。
●本製品はキヤノン（株）とは無関係で、承認を受けたものではありません。
●製品上の原因による品質不具合が認めらました場合は、同数の新しい製品と取替えいたします。
それ以外の責はご容赦ください。

詰め替えの前に必ずお読みください

⚠重要 カートリッジ型番によって詰め替え方法が異なります。

BCI-350PGBK、BCI-351シリーズについては 詰め替え手順A を参照

BCI-350XLPGBK、BCI-351XLシリーズについては 詰め替え手順B を参照

異なった方法で詰め替えを行いますと、インク漏れや印字不良の原因となります。カートリッジを確認してから、詰め替えを行ってください。

次のキヤノンプリンタでインクを詰め替えてご使用になる時の注意
PIXUS　MG6330 / MG5430 / MX923 / iP7230
上記のBCI-350PGBKおよびBCI-351インクタンク専用プリンタで詰め替えインクタンクを使って印刷するには、プリンタの「インク残量検知機能を無効にする」という操作が必要です。
本取扱説明書の詰め替え手順のあとの『印刷続行操作とインク残量検知機能の無効操作』を参考に行えばインク残量は表示されませんが、印刷は通常通り行えます。

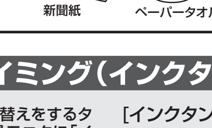
※この操作による表示解除は詰め替えて使用したインクタンクだけであり、新品インクタンクを取付けた後は、残量検知機能と残量表示は有効に戻ります。
※インクを詰め替えたインクタンクやそれを使用したプリンタは、メーカーよっては不正改造にあたるとみなされる場合があります。使用中にトラブルが発生した時、不明点、ご質問、ご相談はまず弊社にご連絡ください。
※インクタンクのICチップ面を汚したり、触れたりしないようにしてください。

※詰め替えたインクカートリッジの残量表示で「！」マークが表示されて以降は、受信したファックス内容は自動印刷されずにメモリに保存されます。（代行受信）
代行受信を自動受信に戻す場合は[メニュー]→[セットアップ]→[本体設定]→[ファックス設定]→[自動印刷設定]→[インク切れでの印刷]→[印刷する]と設定することによって、自動的に印刷されます。
（詳しい操作手順はプリンタの取扱説明書を参照してください）

※インク残量が表示されませんので、インクがなくなってもプリンタは停止しません。印刷状態を確認しながら早めの詰め替えを行ってください。

準　備

詰め替えの時にインクがこぼれて周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙やペーパータオルを用意し、その上で作業してください。



使用するインクタンク

純正インクタンクに詰め替えてください。
以下のものは対応していませんので、使用しないでください。
■再生品インクタンク
■互換品インクタンク　■他社詰め替えインク使用品

詰め替え回数（推奨限度回数）

詰め替えによるインクタンク再使用は3～4回までが適当です。それ以上のつめかえはインク供給に不都合を生じ、正常な印字ができなくなる場合があります。

詰め替え作業

本書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。

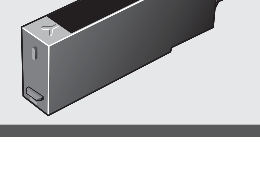
！ 詰め替えのタイミング（インクタンクに初めて詰め替えする）

初めてインクタンクに詰め替えをするタイミングは、パソコンや液晶モニタに「インク切れ〔×〕」のマークが表示され、インクタンクのインクランプ（赤色）が点滅し、実際にインクがなくなった時に行ってください。

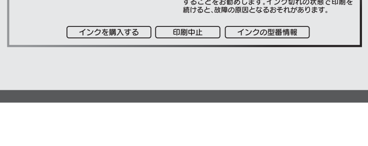
※インク残量表示が「インクが少なくなっています〔!〕」の場合でも詰め替えられますが、印刷を続けると〔×〕となります。また、インクの残り量が多いとインクが漏れて作業ができない場合があります。

[インクタンクの状態]

インクランプ(赤)が点滅している



[パソコンモニタ]の表示



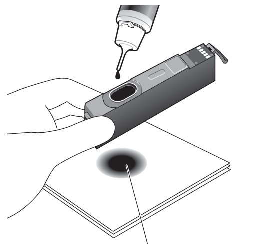
[液晶モニタ]の表示

詰め替えの手順

詰め替え手順A………………BCI-350PGBK、BCI-351シリーズ

1 インクを注入する

新聞紙やペーパータオル等を敷き、インクボトルの先を供給口に近づけてインクをたらします。
供給口のインクが染み込まなくなるか、通気口からインクが漏れてきたら注入を止めます。

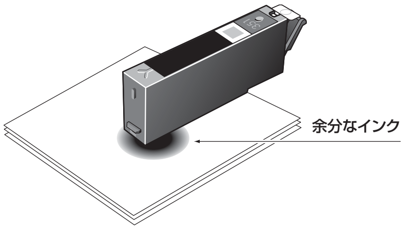


○インクの注入量の目安
BCI-350PGBKの場合 ……………… 約10ml
BCI-351シリーズの場合 ……………… 約6ml

※上記の注入量はインクを使い切った時の推定量で、お使いの状況や詰め替えをするタイミングにより変わります。おおむね、1回目は多く、2回目以降除々に少なくなります。

2 空気口、供給口に付着した余分なインクを除く

ペーパータオルなどの上に10〜20秒置いて余分なインクを除いてください。
その後、インク供給口からインクが出てこないことを確かめてからプリンタにセットしてください。

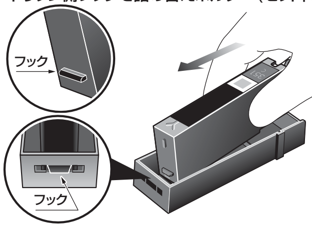


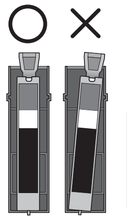
以上で詰め替え完了です。「詰め替え後について」に進んでください。

詰め替え手順B………………BCI-350XLPGBK、BCI-351XLシリーズ(大容量タイプ)

1 インクタンクを詰め替えホルダーに固定する

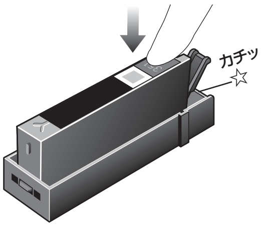
1.インクタンクの図で示すところにフックがあります。
カートリッジ側フックを詰め替えホルダー(セット内容⑤)のフック装着部に入れます。





⚠注意
351XLシリーズは斜めに固定されないようにしてください。

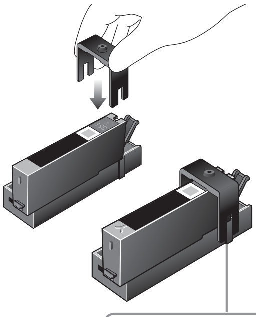
2.インクタンクのQRコード下の350(351)部分を押して、固定用つまみがツメに「カチッ」という音がするまで押し込んで固定してください。



⚠注意
インクタンクが浮いた状態でインクを注入するとインク漏れの原因になります。完全に装着されたことを確認してから注入作業を始めてください。

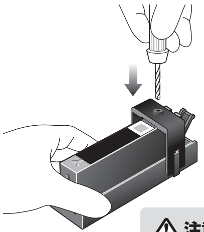
2 ドリルガイドを詰め替えホルダーに装着し、インク注入口を開ける

1.ドリルガイドを詰め替えホルダーのドリルガイド装着部に合わせて装着します。



ガイドがホルダーから外れないようにしっかりと装着します。

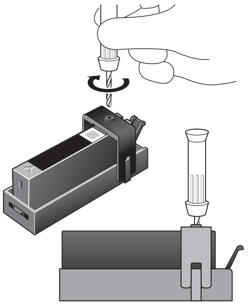
2.ドリルガイドの注入口穴開け位置に合わせてドリルを差し込みます。



注入口
穴開け位置

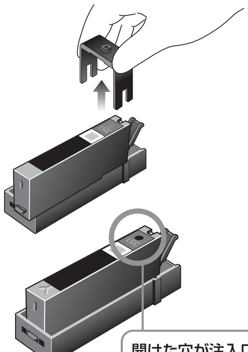
⚠注意
ドリルはガイドに垂直に差し込んでください。
斜めに差すとインク漏れの原因となります。

3.ドリルを時計回りに回して穴(注入口)を開けます。



ドリルが進まなくなるまで回してください。

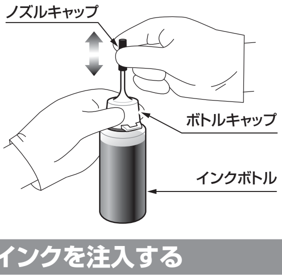
4.ドリルガイドを外します。



開けた穴が注入口になります。

3 インクボトルのゴムキャップを外す

手袋(セット内容⑦)を着用します。インクボトルのキャップを取外したり閉める際はノズルの根元をしっかり押さえながら、垂直方向に動かしてください。



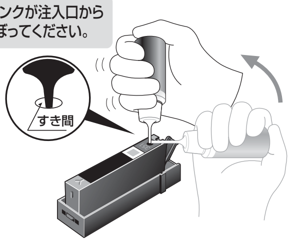
⚠ 注 意
インクボトル部分は絶対に押さえないでください。
インクが飛び出すことがあります。(ゴムキャップを閉める際はノズル先端から1cm程差し込んでください)

4 インクを注入する

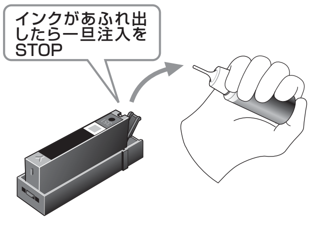
1.インクボトルのノズル先を水平より上に持って、注入口にノズル先端を合わせます。そのままインクボトルが垂直になるように起こして差し込みます。ボトルをゆっくりしぼりながらインクを注入します。

⚠注意 ボトルを強くしぼりますとインクが注入口からあふれるので、ゆっくりとしぼってください。

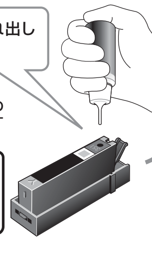
※ノズルの根元で注入口をふさがないよう、空気の抜けるすき間を確保しておいてください。すき間を確保せずにインクを入れると空気に押し出されて供給口や通気の溝からインクがもれてきます。また、注入時はもれなくてもホルダーから外した後、インクがあふれる可能性があります。
通気の溝からインクがもれてくると、プリンタにセットした時にインクが出ない場合があります。



2.インクが注入口からあふれ出たら、一旦注入を止めてインクがスポンジに吸収される時間(約10〜15秒)待って、再度インクをゆっくりと注入してください。



3.インク注入口から再びあふれ出たら、その時点で注入を終了し、ノズルを注入口から引き出してください。



※下記の注入量はインクを使い切った時の推定量で、お使いの状況やつめかえをするタイミングにより変わります。

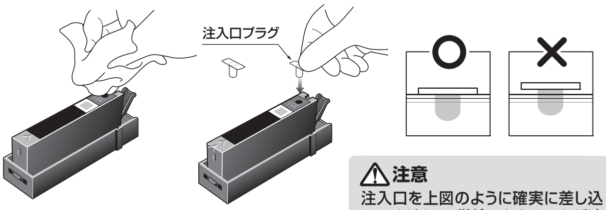
○インクの注入量の目安
BCI-350XLPGBKの場合…20ml
BCI-351XLシリーズの場合…10ml

裏面へつづく⇒⇒⇒

詰め替えの手順

5 注入口にプラグを差し込む

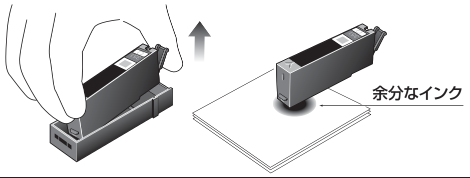
注入口からこぼれて付着したインクをティッシュペーパーなどで拭き取ります。
付属の注入プラグ③を注入口に差し込み、インクがもれないようにしっかりと栓をします。



⚠注意
注入口を上図のように確実に差し込んでください。供給口からインクが流れ出して止まらない場合があります。

6 インク供給口のキャップを取り、余分なインクを除く

インクタンクは固定用のつまみを押しながら上に持ち上げるとホルダーから外れます。
ペーパータオルなどの上に10〜20秒置いて余分なインクを除いてください。その後、インク供給口からインクが出てこないことを確かめてからプリンタにセットしてください。



⚠注意
インクがこぼれた状態でインクタンクをプリンタに装着しないでください。

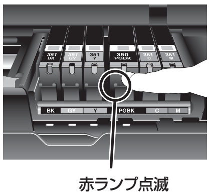
以上で詰め替え完了です。「詰め替え後について」に進んでください。

詰め替え後について

1 詰め替えたインクタンクをプリンタにセットする

インクタンクをプリンタに取付けると以下の状態になります。

❶ インクタンクの赤ランプが点滅している。



赤ランプ点滅

❷ パソコンの画面、(!)または(×)マークを表示(iP/MG/MXシリーズ)

❸ プリンタの液晶画面、(!)または(×)マークを表示(MG/MXシリーズ)

⚠注意
プリンタのエラーランプ(オレンジ色)が点滅(4回・13回・16回)している。または液晶モニタにエラー番号(1600・1683・1688)が表示されている場合は次の「詰め替え後の印刷続行操作」、「インク残量検知機能を無効にする」の手順で対処してください。エラーが解除され、印刷が可能になります。

※上記以外の点滅回数やエラー番号が表示され、インクランプ(赤色)が消えている場合は、他のエラーが予想されます。トラブルシューティングを参照してください。

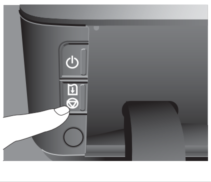
2 印刷続行とインク残量検知機能の無効操作方法について

詰め替えたインクタンクを使用中に2種類のエラーでプリンタが停止します。以下の説明内用に従い、ボタン操作をすれば、エラーが解除され、印刷が可能な状態に戻ります。
※操作はエラーが現れ、プリンタが停止したときに行います。インクタンクを取付けてすぐに現れない場合もあります。
※インク残量検知機能の無効操作のあとは残量表示されませんので、インクタンクのインク量に注意してください。
※インクタンクを新しいもの、または、別のものに交換すれば、そのインクタンクのインク残量が表示されます。

詰め替え後の印刷続行操作

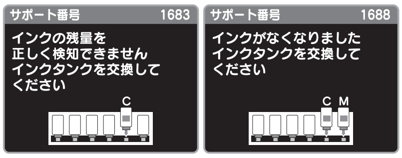
印刷開始直後、または印刷中に下記のいずれかのメッセージが表示される場合があります。
その場合は各々の手順に従って操作を行ってください。
★表示されない場合はそのまま印刷を続けてください。

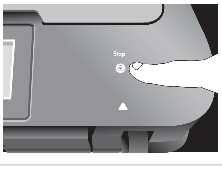
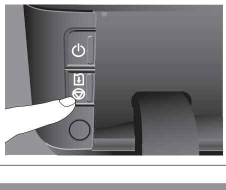
プリンタ液晶モニタ	エラーランプ	
MG6330/MG5430/MX923	MG6330/MG5430/MX923	iP7230
	点灯	4回点滅

プリンタ液晶モニタ	エラーランプ
MG6330/MG5430/MX923	iP7230
液晶モニタのOKボタンを1回押すと、印刷可能になります。	プリンタの「リセット」ボタンを1回押すと印刷可能になります。

インク残量検知を無効にする

印刷開始直後、または印刷中に下記のいずれかのメッセージが表示される場合があります。
その場合は各々の手順に従って操作を行ってください。
★表示されない場合はそのまま印刷を続けてください。

プリンタ液晶モニタ	エラーランプ	
MG6330/MG5430/MX923	MG6330/MG5430/MX923	iP7230
	点灯	13回点滅 もしくは 16回点滅

操作手順	
MG6330/MG5430/MX923	iP7230
操作パネルのstopボタンをエラーランプが消えるまで押すとインク残量検知機能が無効となり、印刷可能な状態となります。	プリンタの「リセット」ボタンをエラーランプが消えるまで押すと、インク残量検知が無効となり、印刷可能になります。

3 クリーニングと印字テスト

インクタンクをプリンタに取付け、最初にクリーニングを1回行いノズルチェックパターン印刷またはテスト印字をしてください。プリントがよくない場合はもう一度クリーニングとテストを行ってください。
クリーニングとテスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。
★クリーニングの繰り返しはインクが消耗されます。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はトラブルシューティングを参照してください。

詰め替え回数
詰め替えによるカートリッジの再使用は各色3〜4回までが適当です。それ以上はインクタンク内のスポンジの劣化などによりインクの供給に不都合が生じ、正常が印字ができなくなる場合があります。その際は、詰め替えたインクタンクの使用を止めて、新しいインクタンクを使うことをおすすめします。

2回目からは
【BCI-350PGBK、BCI-351シリーズ】
詰め替え手順A ①~②を再度行ってください。
【BCI-350XLPGBK、BCI-351XLシリーズ(大容量インク)】
詰め替え手順B インクタンクを詰め替えホルダーに取付けてプラグリムーバーで注入口プラグを外してから③~⑥の手順で詰め替えを行ってください。

詰め替えが終わったら
●詰め替えた後の残ったインクはキャップをしっかり閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け涼しいところに立てて保管してください。
●ホルダーは付着したインクを水で洗い流して、水分を拭き取ってからパッケージに保管してください。

ホルダーを保管用として使う方法とお願い

<お願い>
長期間の保管用ではありません。インクタンクはホルダーをしていても、長期間使用されていないと自然にインクの乾燥や供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的(10日に1度程度)にインクをお使いになり、印刷できるか確認することをお勧めします。
<保管方法>
インクタンクをホルダーに取付けます(つめかえ手順B①参照)。さらに通気の溝に接着テープを貼付けて、インクタンクを密閉状態にして保管してください。
※インク供給口全体がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因となり、保管効果がなくなりますのでご注意ください。

トラブルシューティングQ&A

●クリーニングの繰り返しは詰め替えたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいますので、下記のトラブルシューティングを参照してください。
●以下の状態のインクタンクで詰め替えをした場合はサポート対象外となりますのでお確かめの上お使いください。
1.再生インクタンク、互換品インクタンク、他社詰め替えインクとの混合、併用などしている場合。（純正新品使用後のインクタンク対応です）
2.詰め替え回数が本書に記載の推奨限度回数を超えて不具合となったもの。
3.他社詰め替えインクや治具・道具を使用したあとのインクタンク。
4.インクがなくなって長い間放置されている（使用していない）詰め替え不能なインクタンク。

	症　状	手　順	確認事項	処　置
インクタンクのインクランプ（赤色）について	インクタンクを取付け後、点滅し、点灯しない	A・B共通	詰め替え後は点灯となりません。	インクタンクの特性上、インクが入っていても記録が復元できません。ランプは点灯ではなく点滅します。
インク残量表示について	インクを注入したけど、残量表示が満タンに戻らない	A・B共通	詰め替え後はインク残量表示は復元されません。	インクタンクの特性上、インクが入ってもインク残量の記録が復帰されず、詰め替え前と同じ表示になります。（詰め替え後について②印刷続行とインク残量検知の無効操作方法についての項を参照）
詰め替え後	詰め替え後、プリンタが動かない	A・B共通	プリンタの液晶モニタ、エラーランプを確認してください。	詰め替え後について②印刷続行とインク残量検知の無効操作方法についての項をご確認ください。
詰め替え作業中	注入中インクが漏れてくる	A・B共通	他社の詰め替えを先に行っていませんか。	他社の詰め替えインクに対応していません。詰め替え方法や治具の形状が違いますので、回復できない場合があります。印刷不良や思わぬ事故などの原因となります。必ず純正品から詰め替えて本書に記載されていること以外は行わないでください。
		A	手順Bで詰め替えされていませんか。	カートリッジ構造が異なる為、注入口を開けるとインク漏れが生じます。新しいインクタンクに交換してください。
		B	詰め替えホルダーの取付け方を確認してください。	取付け方が不完全ではないですか。（浮いたり傾いたりしていませんか）。インクの供給口全周がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因になります。まっすぐカチッと音がするまで付け直してください。
		A・B共通	インクの入れ過ぎではないですか。	余分なインクが残っているのか入れ過ぎの可能性があります。インクタンクをペーパータオルなどの上に置き、インク漏れが止まってから使用してください。
		B	注入口プラグの差し込み方を確認してください。	注入口プラグの差し込み方が不完全ではないでしょうか。インクタンクをホルダーに付け、差し込み直してください。
		上記以外の場合は、詰め替えインクサポートセンターへご連絡をお願い致します。（tel:0120-968-268）		
印刷のとき	詰め替えた色のインクが出ない。印刷にかすれやスジが入る、または途中で途切れる	A・B共通	詰め替え回数が推奨限度回数をオーバーしていませんか。	推奨限度は3～4回までです。詰め替え回数が多くなるとインクタンクのフェルトの中に空気の泡が多くなり、インクの流れが悪くなり、かすれや途切れを起こしやすくなります。
		A・B共通	純正品以外のインクタンクを使用していませんか。	再生インクタンク、互換インクタンクには対応していません。これらの製品への詰め替えはインク成分が違うため、インク漏れや印字不良となる可能性があります。純正品インクタンクに詰め替えてください。
		A・B共通	他社の詰め替えを先に行っていませんか。	他社の詰め替えインクには対応していません。混合した場合、インク成分が違うためインク漏れや印字不良で、インクがかすれたり出なくなる恐れがあります。
		A・B共通	インクが漏れていませんか。	インクの漏れはノズルへのインク供給過多となり印刷ができません。プラグの差し込み方が悪くて空気が入って漏れる、余分なインクが残っていて漏れるなどの可能性があります。それぞれの確認と修正をしてください。
		A・B共通	インク不足ではないですか。	再度インク注入を行ってください。
	色合いがおかしい	A・B共通	ノズルチェック印刷をしてください。	全部のインクが出ているか確認してください。出ていないインクの色があると、色合いが変わります。上記の「詰め替えたインクの色が出ない」項目を確認してください。インクは弊社オリジナルインクを使用しており、同等の色合いとなるよう調整されていますが、若干の色の差異が生じる場合があります。
		A・B共通	インクの入れ違いはありませんか。	入れ違いは、印刷不良や思わぬ事故の原因となりますので、ご使用をやめて、新しいインクタンクと交換してください。
		A・B共通	他社の詰め替えを先に行っていませんか。	他社の詰め替えインクには対応していません。混合または併用した場合、色が変わる恐れがあります。
		A・B共通	用紙のインクが乾いていますか。	用紙により差がありますが、インクは印刷してから乾くまでに時間がかかり、その間色合いが変化していきます。少なくとも30分以上経過してから確認してください。
		A・B共通	用紙の設定が変わっていませんか。	用紙が変わると色合いが違って印刷されます。同じ用紙と設定にしてください。
		上記以外の場合は、詰め替えインクサポートセンターへご連絡をお願い致します。（tel:0120-968-268）		
ホルダーについて	ホルダーに付けていたらインクが漏れてきた	B	詰め替えホルダーの取付け方を確認してください。	取付け方が不完全ではないですか。（浮いたり傾いたりしていませんか）。インク供給口全周がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れているとインクの漏れや乾燥の原因となります。まっすぐカチッと音がするまで装着してください。
	長い間保管していたらインクが漏れてきた	B	長期間の保管用ではありません。	インクタンクはホルダーをしていても、長期間ご使用されていないと自然にインクが乾燥したり、供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的（10日に1回程度）にインクをお使いになり、印刷できるか確認することをお勧めします。

サンワサプライ
つめかえインク サポートセンター

tel:0120-968-268　受付時間：月～金（土・日・祝日をのぞく）9:00～12:00　13:00～17:00

inksupport@sanwa.co.jp

※フリーアクセスには、050番号のIP電話からはつながりません。ご不便をおかけしますが、一般加入による固定電話、もしくは携帯電話からご利用くださいますよう、お願いいたします。

お願い　ご連絡を頂く際はパッケージ裏面に記載の品番をお知らせください。
INK-00000

岡山サプライセンター　岡山県岡山市北区田町1-10-1　TEL.086-223-3311
東京サプライセンター　東京都品川区南大井6-5-8　TEL.03-5763-0011
http://www.sanwa.co.jp/

13/03/KSDaki